

財団法人 8020 推進財団 平成 24 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名	: 子どもの口腔の健康から 健康な地域づくり
2. 申請者名	: 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 藤重貞慶
3. 実施組織	: 公益財団法人ライオン歯科衛生研究所 八重山地区歯科医師会
4. 事業概要	<p>沖縄県石垣市で、健康や生活習慣に関わる地域の状況や課題にあわせて「小学生を中心とした子どもの歯と口の健康づくり」の取り組みを推進し、口腔の健康に対する学校・家庭の意識の向上をはかり、健康な地域づくりにつなげることを目的に事業を展開することとした。本年度は、学校で子どもたちの健康に携わる養護教諭とつながりを持ち、「学校での取組みについての現状把握」、および「養護教諭に対する情報と教材の提供」について石垣市教育委員会と連携し、以下の通り事業を推進した。1) 健康づくり等に関わる学校での取組みを調査した結果、石垣市全ての小・中学校で、「昼食後の歯みがき」、「保健だより等家庭の啓発」を実施していた。その他「歯科健康相談・保健指導」、「歯科保健教育」では70%以上学校で取り組んでおり、「歯科保健教育」の実施の高さが明らかになった。また「歯科保健に取り組むにあたって必要なこと」は、「歯科に関する情報」、「児童用・指導者用パンフレット」、「具体的な取り組み」、「取り組みのための教材」が上位の回答であった。2) 養護教諭に対する情報と教材の提供については、明海大学学長 安井利一先生を講師に「学校における歯・口の健康づくりの取組みについて～“生きる力”をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり～」についての講演会を開催し、学校歯科に関する情報提供を行った。教材については、子ども自身に身につけて欲しい「歯と身体の健康に関連する行動 11項目」を提示し、子ども自身が各項目に対する自分の行動をチェックでき、チェックした自分の行動についてアドバイス（評価）を得られることを可能とする内容の教材を作成した。教材は年齢に応じて3種類作成し、平成25年4月以降、養護教諭により実施することとした。</p> <p>今後は、これまで実施してきた内容に対する成果をどのように評価するかについて検討し、教育委員会および養護教諭とともに、「子どもの口腔の健康から、健康な地域づくり」の実現に向け、平成25年度以降も事業を継続して推進していくこととした。</p>
5. 事業の内容:	<p>沖縄県石垣市で、「小学生を中心とした子どもの歯と口の健康づくり」の取り組みを推進し、活動を通して、口腔の健康に対する学校・家庭の意識の向上をはかり、健康な地域づくりにつなげることを目的に事業を展開することとした。そして本年度は、養護教諭とつながり、「学校での取組みについての現状把握」および「養護教諭に対する情報と教材の提供」について、教育委員会と養護教諭の数名と連携し、以下の通り事業を推進した。</p> <p>1. 歯科保健に関する状況を把握するためにアンケートを実施し、市内小学校14校、中学校4校、小中併設校4校から回答を得た。その結果、多くの学校において歯科保健は必要とあり、全ての学校で共通して行っている歯科保健活動は、「昼食後の歯みがき」、「保健だより等家庭の啓発」であった。また、「歯科健康相談・保健指導」、「歯科保健教育」について80%以上の学校で実施していた。一方、歯科保健に取り組むにあたって、必要とされた項目の上位には、「歯科に関する情報」、「児童用・指導者用パンフレット」、「具体的な取り組み」、「取り組みのための教材」とあった。</p> <p>2. 学校歯科に関する情報と教材の提供については、明海大学学長 安井利一先生を講師にお招きし、「学校における歯・口の健康づくりの取組みについて～“生きる力”をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり～」についての講演会を開催した。そこで、参加した養護教諭から学校の現状課題として子どもの生活習慣や家庭に関連した内容が多く挙げられた。また学校で使える教材の提供として、子ども自身が身につけて欲しい「歯と身体の健康に関連する行動 11項目」を提示、また子ども自身が自分の行動をチェックし、チェックした自分の行動についてのアドバイス（評価）が得られることを特徴とした教材を、小学校低学年用、小学校高学年用、中学生用の3種類作成し、これは平成25年4月以降、養護教諭により児童生徒に対して具体的に実施することになった。</p> <p>今後は、これまで実施してきた内容に対する成果をどのように評価するかについて検討し、教育委員会および養護教諭とともに平成25年度以降も本事業を継続して推進していくこととした。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）:	<p>1) 関係者と作成した教材の効果の評価を行うこと 2) 今回作成した取組み以外の方法の検討 3) 子どもの生活の場である家庭、特に保護者に対するアプローチ方法</p>